

けいちゃん はんちゃん なあちゃん の

社会見学の学研都市

生駒市編

高山
竹林園



ねえみんな、茶道で使う「茶筌」の発祥は生駒市って知ってた？室町時代、ここ高山で作られた茶筌が京都に広まり、様々な茶道の流派が全国へと広まっていったんだ。今回わたしたちが見学した『高山竹林園』では、そんな茶筌をはじめとした茶道具の歴史や、制作工程について知ることができたよ。ここには様々な流派の茶人が使う茶筌がたくさん展示されているんだ。竹の種類や穂先の曲がり方がそれぞれ全然違って、茶人たちの強いこだわりを感じたよ。わたしが茶人だったら、どんなデザインの茶筌を使おうかなあとか考えちゃった！

ちよとより道 高山かきもち

この工場では、もち米がどんどんおかきになっていく様子を見学したよ！小学生たちが社会見学に訪れることも多くて、壁にはおかきができるまでの工程や『おかき』『あられ』『せんべい』の違いは？』など、子供たちの質問についての答えが掲示されていて勉強になったな～。工場にはおかきを買うお店もあって、お客さんたちがおかきをたくさん買っていたよ！人気商品「ころもち」は食べ始めると止まらない美味しさ！



けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町（精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市）を全8回にわたって訪問します。シリーズ第5回となる今回は、生駒市を訪問しました。

竹茗堂左文



『竹茗堂左文』では茶筌を作る工程を見学したよ。短い竹の筒が何等分にも割られると、お花みたい穂先が広がっていったよ。さらに削り、しごいていくと穂先がくらげのようにふんわりして、みるみるうちに茶筌の形になっていくの！今は海外でも抹茶が流行しているの、毎日たくさんの茶筌を職人さんたちが作っているそうだよ。最近、茶筌をもとにしたマドラーやアロマディフューザーなんかも作っているんだって！生駒から世界へ職人さんたちの手仕事が届けられるって、なんだかとても素敵だね。

INFORMATION

奈良・生駒
高山竹林園

竹林園は、竹製品の里「高山」の地場産業である茶筌、茶道具、編み針等のより一層の振興を図っています。美しい庭園の中に資料館や竹生庵などを配した竹林園は広く一般に開放され、茶筌制作実演の見学やお抹茶体験等もあり好評を博しています。

生駒市高山竹林園
〒630-0101
奈良県生駒市高山町3440番地



高

奈良の銘菓「高山かきもち」を生んだ1950年創業の製菓ブランドです。できたてのおいしさをより安価に楽しんでもらいたいという思いを大切に、独自の製法でおかきの製造販売を続けています。

高山製菓株式会社
〒630-0101
奈良県生駒市高山町6785



竹茗堂左文

高山茶筌の竹茗堂左文は高山茶筌をはじめ、各種茶道具、野点セット等を全国へお届けしています。茶筌は、当主自らの制作指導によって熟練された職人の構成で作られており、すべて日本国内産です。

竹茗堂左文
〒630-0101
奈良県生駒市高山町6439-3



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO/FLOWER HUMMINGJ
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中！
twitter/instagram @ohyeah_saki